



四国中央地区労働者福祉協議会が 電磁調理器を寄贈

3/14 (木)、四国中央地区労働者福祉協議会 (井上俊正会長) からチャリティーゴルフの募金を活用し、電磁調理器が寄贈されました。市役所市民交流棟 2階で市内三つの障がい者就労支援事業所が運営している共同販売所「だんだん」で有効に活用されています。



四国地域産業協議会が療育用具を寄贈

3/28 (木)、四国地域産業協議会 (鈴木昇会長) から子ども若者発達支援センター (パレット) 内の児童発達支援センターに療育用具が寄贈されました。同協議会は、大王製紙株式会社及びグループ会社と取引のある企業などで構成され、会員及び地域社会の発展に寄与することを目的にさまざまな活動を行っている団体です。



四国中央署と四国中央地区防犯協会が 防犯下敷きを寄贈

4/4 (木)、四国中央警察署と四国中央地区防犯協会から市内の全小学校の新入学児童へ防犯下敷きが贈られました。新入学児童代表の三島小学校の合田達生さんと坂下梨紗さんは「交通ルールをよく守り、元気に学校へ行きます」とお礼を言いました。



ふるさとアドバイザー 故郷への思いを語る



横浜ロフト 館長

古東 美幸 さん

(昭和 38 年中之庄町生まれ、東京都在住)

【主な経歴】

昭和 61 年 香川大学卒業
西武百貨店入社
平成 25 年 株式会社ロフト
商品部文具雑貨部長
平成 29 年 横浜ロフト 館長

当時の井原市長と高校の同級生であったご縁で、ふるさとアドバイザーをお受けしました。三島高校を卒業したのち、大学、就職で家を離れましたが、両親も健在で定期的に帰省しておりますので、遠く離れたふるさとという感はありませんでした。ただ、ふるさとアドバイザー就任をきっかけに同窓会の依頼で三島高校の創立記念日に講演をさせていただいたり、ロフトでの担当の商品が文具ということで紙のメーカーの方とお会いしたりと、四国中央市の話題が私の周りでも増えていきました。また、自主開発商品を企画したときには、四国中央市のメーカーを訪問した部下から「いいところですね」と褒められ、うれしく思ったこともございます。

この 10 年くらいで、「文具好き」の人口が増え、特に女性の方は「紙」が大好き。マスキングテープを代表に紙の詰め合わせを作って贈る「素敵便」が流行、最近では「文具女子博」なる集まりが 3 日間で 35,000 人を動員するなど、大きな関心を呼んでいます。紙の可能性は本当に広いと感じますし、プラスチックごみによる環境汚染が問題になるなか、ストローなどの脱プラスチック化が進めば、さらに多くのシーンで紙がクローズアップされるのではと期待できます。近くにいとあたりまえに思えることにも「付加価値」がプラスされる時代です。これからも、四国中央市の産業の発展のお手伝いができるのであれば幸いです。

今後、「住みたい町」「魅力あるふるさと」は新しい持続可能なまちづくりにおいて、中核の要素となるでしょう。穏やかな気候と穏やかな気質、健やかな子どもが育つ環境。20 年ぶりに会っても、高校時代と変わらない会話ができる友人。たくさんの宝物がそこにあります。

三島高等学校菱門同窓会総会

日 6/22 (土) 16:00 ~ 総会 16:30 ~ 懇談会

場 ホテルグランフォーレ

募 6/10 (月) まで

料 3,000 円 (新卒者無料)

問 三島高等学校菱門同窓会事務局 23-2136

編集後記

いよいよ「令和」の時代が始まります。紙面の中の見慣れない「令和」にドキドキしてしまいます。(石)

はじめて編集に携わった市報が令和元年 5 月号。とてもありがたく思います。大切に保存します。(薦)

子どもが小学校と幼稚園に入りました。一つだけでいいので、得意なものを見つけてほしいと思います(藤)

取材先でみなさんの笑顔を撮影できるよう、今年こそ減量を成功させ、足で稼ぎたいと思います。(井)

